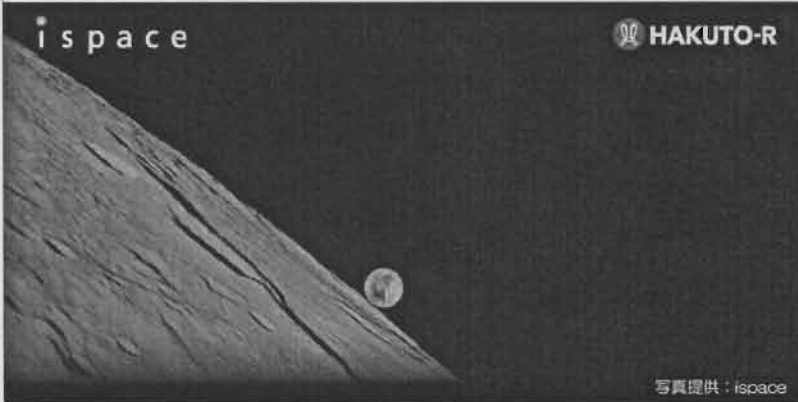




民間初の月面着陸はならず…挑戦は、続く!

4月20日、ispaceの探査機のカメラが月から100km地点で撮影した月と地球。折しもこの日は、南半球で金環皆既日食があった日。地球には月の影が落ちています。2024年の「ミッション2」を目指して進んで欲しいです。



写真提供: ispace

ブラックホールを取り巻く円盤と吹き出すジェットを初撮影 (その1)

2018年に撮影され、5年の歳月を経て解析され、今年4月に発表されました。



写真提供: Lu et al. 2023. composition by F. Tazaki

木星氷衛星探査計画 JUICE 打ち上げ成功 4月14日(金)  
Jupiter Icy Moons Explorer

この探査計画は、esa(欧州宇宙機関)が主導し、日本やアメリカ、イスラエルが参加する国際協力ミッションです。JUICEはアリアン5型ロケットで南米フランス領ギアナから打ち上げられ、木星の氷衛星エウロパ、カリスト、ガニメデを目指します。3つの氷衛星はガリレオ衛星ですが、もうひとつのガリレオ衛星「イオ」は氷衛星でないため、この探査には含まれません。

太陽系では木星より遠い惑星では衛星の主成分が氷で、このような衛星を氷衛星と呼びます。太陽系の成り立ちを調べるため、木星は重要な天体ですが、ガス惑星のため調査は難しく、それに対し、衛星は木星形成当時の材料物質が「化石」のように残っている\*ことが期待されています。さらに、氷の下に液体の「水」の存在があれば、生命の可能性もあります。8年後の2031年、木星系に到着後、氷衛星の探査が始まり、2035年にはガニメデ周回軌道に入ります。長きに渡る探査が開始されました。

\*HAYABUSA、HAYABUSA2が小惑星を目指したのも、太陽系形成期の様子を調べるため。小惑星に材料物質が「化石」のように残っているであろうという予測の元、探査が行われました。

写真・イラスト提供: esa



今月の見どころの重星連星天体  
かに座イオタ(かに座ι星)  
黄色の4.0等と青色がかった6.6等の二重星。  
ミザールとアルコル(おおぐま座)  
ミザールは2.2等。肉眼二重星のアルコル(3.99等)で、視力の検査をしましょう。  
アルギエバ(しし座γ星)  
オレンジ色2.6等と黄色の3.8

5月6日半影月食 月の図 ステラナビゲーターVer.12(簡)アストロアーツ(簡)アスキー

部分月食のようにしっかりと欠けることがないので、肉眼ではわかりにくいですが、食の最大のころ、月の上部が暗く見えるかもしれません。右図参照。



しろいメール配信サービスに登録しましょう  
下のQRコードで登録してください。イベントの前にメールが届きます。  
◎コンサート情報  
◎イベント講座情報  
◎文化センターイベント情報

